



平和首長会議 Mayors for Peace

広島の被爆樹木二世:アオギリ

Second-generation A-Bombed Chinese parasol tree from Hiroshima



(広島の平和記念公園内の親木)

Mother tree Chinese parasol (*Firmiana simplex*)

1945年8月6日午前8時15分、一発の原子爆弾により広島
の街は廃墟と化し、その年の暮れまでに14万人もの市民が亡く
なりました。

被爆樹木は、被爆の惨禍に遭いながらも、焼け焦げた幹から再
び芽吹き、市民に生きる勇気と希望を与えるとともに、核兵器
廃絶と世界恒久平和の実現を訴え掛けています。

貴自治体にお贈りしたこのアオギリの二世が大切に育てられ、
多くの人々に愛されることにより、貴自治体の平和のシンボル
となることを心から願っています。

平和首長会議

このアオギリは、生き残った親木の種から発芽した
ものです。親木は爆心地から1,300メートルの距離
にある旧広島通信局（広島市中区東白島町）の中庭
で被爆しました。爆心地側の幹半分が原爆の熱線と
爆風により焼けてえぐられましたが、焦土の中で
青々と芽を吹き返し、市民に生きる勇気と希望を
与えました。1973年に平和記念公園に移植され、今も
成長を続けています。右のQRコードを読むと、被
爆樹木の位置情報が表示されます。

QRコード